

インフラ維持管理・更新・マネジメント技術 自己点検結果

#	審査の視点（平均点） 外部専門家のコメント	対応状況	理由
1	<p><u>研究開発の内容の重要性、妥当性（1.3点）</u></p> <p>①国際的に見て日本のマネジメントは遅れている。インフラを点検診断し健全度評価まで進んだとして、その後対策の可否を誰が決めて執行するかという、マクロ的なマネジメントも必要。</p> <p>②既存の要素技術との違いを明確にし、国が推進する意義を明確にすべき。いくつかの主要な地域、インフラを対象に先行的な実験（社会実験）を行うことも盛り込んでどうか。</p> <p>③国際的に見てハイレベルな内容となっている。特定の企業や大学等に対して非合理に利益を誘導するような内容にはなっていない。</p>	<p>①反映済</p> <p>②ご指摘を受け反映</p> <p>③反映済</p>	<p>①日本のインフラマネジメントが遅れていることは認識しており、それを解決するのが今回のプロジェクト。個別技術の開発だけではなく、それを適宜使ったインフラマネジメントが実際のインフラで回るようにすることを目標としており、ご指摘の点はプロジェクトの視野に入っている。</p> <p>②この分野の要素技術は市場が不明確で民間が参入しづらく、また地方自治体も開発する余裕が全くないため、国が推進する意味が高いことを記載する。</p> <p>先行的な社会実験の実施について明示的に記載する。</p> <p>③原文で妥当。</p>
2	<p><u>実用化・事業化への戦略性（1点）</u></p> <p>①個別要素の研究が色濃く見えてしまう。個々の要素技術を用いてインフラマネジメントサイクルを回す仕組みが重要。インフラデータが民間に提供されて民間が技術開発出来るような仕組みが産業発展につながる。</p> <p>②多様な業界・業種にとってビジネスチャンスになるような記載を加えていただきたい。アセットマネジメントを支援する企業群の産業化のために、アセットマネジメント技術に対する予算をもう少し拡充していただきたい。</p> <p>③具体的な戦略までは描かれていないが、現段階ではそこまで言及できない。計画書には「現在の建設市場と同等の魅力ある維持管理市場を創造」と記載されており、妥当と考える。</p>	<p>①一部ご指摘を受け反映</p> <p>②一部ご指摘を受け反映</p> <p>③反映済</p>	<p>①指摘の個別要素を用いてインフラマネジメントサイクルを回すようにする仕組みを作ることが終局的な課題と考えており、このような意図が伝わる記載をする。</p> <p>民間の技術開発に対するインセンティブは多分に契約等の社会制度にかかわることであり、本研究で議論はするもののその実行はインフラ所有者に委ねられる。</p> <p>②建設市場と同等の魅力ある維持管理市場の創造を記載しているが、多様な業界・業種に対する記載を追記。アセットマネジメント対策に対する予算についてはH26年度はこの程度で行い、状況を見て来年度以降検討する。</p> <p>③原文で妥当。</p>
3	<p><u>組織間連携（産産、産学、府省）の有効性（1.7点）</u></p> <p>①国交省等のインフラ管理者が管理しているデータをどこまで共有できるのかによって連携の有効性が決まると考える。</p> <p>②すでに研究開発を進めている国交省などのプロジェクトと、これから始まるSIPプロジェクトと横並びでうまく連携するようなマネジメントを行うべき。</p> <p>③実施体制に具体的に記載されている。</p>	<p>①ご指摘を受け反映</p> <p>②ご指摘を受け反映</p> <p>③反映済</p>	<p>①インフラに関する点検等のデータの共有化は大きな課題であり、共有すべきデータならびにその公開システムについてもアセットマネジメント研究のところで検討。</p> <p>②「各省既存施策とSIPの関係図」により、SIPの取組が既存プロジェクトと連携しかつマネジメントする構図を明示。</p> <p>③原文で妥当。</p>
4	<p><u>その他特記事項</u></p> <p>②インフラ長寿命化計画等の計画との連携を考慮すべき。</p> <p>③民間がインセンティブを持って参入できるような仕組み、制度改革も必要。例えば特定の企業だけの技術であっても発注できるしくみなど。</p> <p>地方にはこの分野の技術者が殆どいない状況で地方のマネジメントをいかに回すかが特に重要。</p> <p>日本の既存の建設技術レベルは高く、その技術と維持管理技術をうまくパッケージ化して国際展開を図るべき。</p>	<p>②ご指摘を受け反映</p> <p>③ご指摘を受け反映</p>	<p>②インフラ長寿命化計画等の計画との連携を記載。</p> <p>③出口戦略の記載に反映。民間の参入に対する契約方式、地方のインフラマネジメントの問題、日本の建設技術のレベルの向上と国際展開に向けての戦略化についても研究課題5で中心的に議論する。</p>

※点数は以下を基準にしています。

0点:改善が必要なもの

1点:妥当であるもの

2点:優れているもの